

2022

市報 やまぐち

2/1

February
No.384



特集 あなたの子育て全力サポート！	2
■ 空き家・空き地バンクを利用しませんか？	6
■ 市政トピックス	8
■ 県央連携都市圏域の情報を紹介「山口ゆめ回廊」	9
■ 山口で広がる国際交流	9
■ 新型コロナワクチン追加（3回目）接種について	10
■ 市長コラム「共に歩む」	10

あなたの子育てで全力サポート！

子育て保健課 ☎083-921-7085

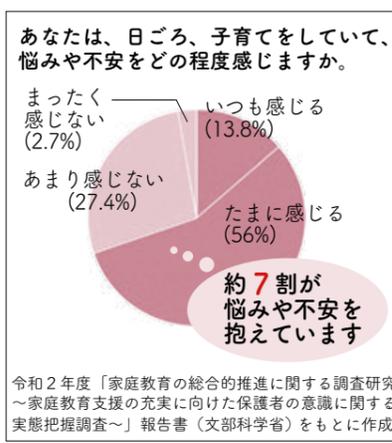


新しい家族を迎えて

やっと出会えた大切なわが子。新たな命が誕生する喜びは、何物にも代えがたいものです。けれど、赤ちゃんのお世話は24時間365日休みなし。これまでの生活が一変します。

2、3時間おきの授乳、おむつ替え、寝かしつけの繰り返し。なかなか赤ちゃんが寝ない、どうして泣いているのか分からない、といった不安や悩みが尽きず、子育てに奮闘するお母さんやお父さん、ご家族は心身ともに非常に疲れ切っているのではないのでしょうか。

また、「わが子をしつかりと育てなければならぬ」という親としての責任や重圧を過度に感じたり、思うように自分の時間が取れないことや、子育てと仕事、家事の両立に悩んだりして、ストレスをため込んでしまう人も少なくありません。



コロナ禍の子育て

現在、長引くコロナ禍の影響で、妊娠・出産・子育てにおいて、支援者不足や孤立化が深刻な問題となっています。

立ち合い出産ができない、里帰りができず実家で祖父母のサポートを受けることが難しい、出産後も感染が心配で思うように外出できないなど、今まで以上に大変なことが増え、漠然とした不安や社会から切り離されたような孤独を感じる方が増加している状況です。

一人で抱えこまないで

本市では、誰もが安心して妊娠、出産、子育てができるように、さまざまな相談・支援体制を整えています。今回の特集では、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援についてご紹介します。

誰もが迷い、悩みながら子育てをしています。少しでも不安なことがあったら、こんなことで相談していいのかな...と一人で悩まず、まずは市の相談窓口で相談したり、同じ悩みを持つ子育ての方とおしゃべりしたりしてみてもいいかがでしょうか。すぐに解決することは難しいかもしれませんが、一緒に考えることで、何かがきつと変わるはずですよ。

まだまだあります！

あなたの身近な子育てサポート

各地域の担当保健師

山口・小郡・秋穂・阿知須・徳地・阿東の6つの地域の保健センター等で、各地域の担当保健師がさまざまな母子保健サービスのご案内や、お子さんの成長や子育てに関する相談を受け付けています。

各地区の母子保健推進員

市から委嘱を受けた母子保健推進員が、家庭訪問や各地区での育児学級などを通して、お母さんと乳幼児の健康を見守る活動をしています。※母子健康手帳交付の際に、母子保健推進員の活動を紹介します。

お気軽にご相談ください！

大歳地区母子保健推進員の皆さん

子ども家庭総合支援拠点 ～あなたの不安に寄り添います～

本市では、3つの拠点が連携しながら、子育て中のご家庭のお悩みやお困りごとの相談を随時受け付けています。

こんなときご相談ください

- 初めての出産で色々不安
- 妊娠中の生活のことが聞きたい
- 赤ちゃんの体重が増えているか心配
- 身近に相談できる人がいない など

ウェブサイトはこちらの二次元コードから

yamaguchi.g.jp

☎090-6840-8585

☎090-6840-8585

相談方法

電話、メール、来所面談、オンライン

16時30分

■相談受付 月曜～金曜8時30分～

■場所 糸米二丁目6・6 (山口市保健センター内)

■開所日時 月曜～金曜8時30分～

■相談方法 電話、メール、来所面談、オンライン

17時15分

■相談受付 月曜～金曜8時30分～

■場所 旭通り一丁目6・19 (山口保育園2階)

■開所日時 月曜～金曜8時30分～

■相談方法 電話、メール、来所面談

17時15分

■相談受付 月曜～金曜8時30分～

■場所 糸米二丁目6・6 (山口市保健センター内)

■開所日時 月曜～金曜8時30分～

■相談方法 電話、メール、来所面談

24時間対応 ☎083-934-2960

934-2896

ウェブサイトはこちらの二次元コードから

やまぐち母子健康サポートセンター



授乳スペースもあります。

やまぐち子育て福祉総合センター



相談室・遊びコーナーもあります。

家庭児童相談室



あなたの悩みをお聞かせください。

こんなときご相談ください

- 就労や家庭環境に合った保育園や幼稚園選びをしたい
- 子どもの発達に心配
- 親子で遊びに行ける所を知りたい
- 夫婦や家庭、自分自身のことを相談したい など

公式ブログはこちらの二次元コードから

yamaguchi.g.jp

☎083-922-0855

☎083-922-0855

相談方法

電話、メール、来所面談

17時15分

■相談受付 月曜～金曜8時30分～

■場所 旭通り一丁目6・19 (山口保育園2階)

■開所日時 月曜～金曜8時30分～

■相談方法 電話、メール、来所面談

17時15分

■相談受付 月曜～金曜8時30分～

■場所 糸米二丁目6・6 (山口市保健センター内)

■開所日時 月曜～金曜8時30分～

■相談方法 電話、メール、来所面談

24時間対応 ☎083-934-2960

934-2896

ウェブサイトはこちらの二次元コードから

こんなときご相談ください

- 子どもにきつく当たってしまう
- 頻りに子どもの泣き声や親の怒鳴り声が聞こえる等、気になる家庭がある
- 親が病気で一時的に養育が難しい時の預け先を知りたい
- ひとり親が活用できる制度を知りたい など

ウェブサイトはこちらの二次元コードから

yamaguchi.g.jp

☎083-934-2960

☎083-934-2960

相談方法

電話、来所面談、出張相談

17時15分

■相談受付 月曜～金曜8時30分～

■場所 糸米二丁目6・6 (山口市保健センター内)

■開所日時 月曜～金曜8時30分～

■相談方法 電話、来所面談、出張相談

24時間対応 ☎083-934-2960

934-2896

ウェブサイトはこちらの二次元コードから

子育て支援情報ハンドブック

本市の子育てに関する情報(制度、手当、サービス等)をまとめたハンドブックです。電子版ダウンロードはこちら▶



やまぐち親子♡子育てアプリ「やまここ」by 母子モ

簡単・便利に利用できる子育て支援アプリを配信中。オンライン相談も可能。ダウンロードは「母子モ」で検索または二次元コードから▶



お気軽にご相談ください！

大歳地区母子保健推進員の皆さん



乳幼児期

地域子育て支援拠点施設



市内26カ所に子育て親子と地域の方が交流できる施設を開設しています。子育ての仲間づくりや子育てに関する相談等もできます。

※各施設の詳細はこちらから▶

利用者の声



松原 志穂さん
奏多くん
(生後10カ月)

同じくらいの月齢のママさんや先輩ママさんと楽しくお話しできて、悩みを共有して解決することもあります。気軽に立ち寄りやすいのも嬉しいですね。

各地域での育児相談



保健センターや各地域の交流センターで、保健師や母子保健推進員による身体計測や育児相談、管理栄養士や助産師、歯科衛生士、心理相談員による個別相談を行っています。

※詳細は健康づくりガイドや各地域のセンターだより等で案内しています。

利用者の声



水津 仁美さん
創くん
(2歳)
ひなたちゃん
(生後10カ月)

上の子の食事や発達と、赤ちゃんの発育を併せて相談ができました。悩んでいることを気軽に話せて、保健師さんにアドバイスをもらえて安心しました。

赤ちゃんとのふれあい講座



やまぐち子育て福祉総合センターでは、毎日の子育ての中での困りごとや気になっていることを参加者同士でお話したり、赤ちゃんとの簡単なふれあい遊びを親子で一緒に楽しんだりする講座を開催しています。

利用者の声



生後10カ月の男の子とお母さん

同じ0歳児のママさんと赤ちゃん達と一緒に遊んで楽しむことができました。赤ちゃんがなかなか寝ないのが心配でしたが、保育士さんと他のママさんとお話しできてホッとしました。

保育園・幼稚園等入所相談



やまぐち子育て福祉総合センターでは、保育園・幼稚園・認定こども園やその他の支援施設・サービス等の情報を提供し、自分で選択して利用できるように支援します。また、入園のご相談や申し込みに必要な書類もご案内しています。

利用者の声



徳永 智美さん
琴音ちゃん
(1歳)

保育園のことなど、2人目が生まれて忙しくなる前に聞きたいことが聞けて良かったです。パンフレットや資料ももらえて、子どもをおもちゃで遊ばせながらゆっくりお話ができました。

出産後

保健師、助産師による「赤ちゃん訪問」



保健師、助産師が赤ちゃんの生まれたご家庭を訪問し、身長・体重測定を行い、子育てに関する悩みや心配事をお聞きします。赤ちゃんの健康状態の確認だけでなく、不安を抱えるお母さんやご家族の心身のケアや、利用できる母子保健サービスを紹介しています。

利用者の声



古屋 恵里子さん
佑真くん
(生後1カ月)

赤ちゃんがなぜ泣いているのか分からず、不安を感じていましたが、訪問に来られた助産師さんに分からないことを何でも聞いて、スッキリしました。産後1人で大人と話す機会がなかなかない中で、ちょっとしたことでもお話ができてリフレッシュできました。

親子の絆づくりプログラム (BPプログラム)



初めての赤ちゃんを育てているお母さん同士、子育ての喜びや悩み、困りごと等話したり、一緒に考えたり、教え合ったりして、仲間づくりをしながら子育ての基礎知識が学べます。親子でゆったりした時間を過ごし、親子の絆を深める講座です。

利用者の声



吉永 優香さん
遥幸くん
(生後5カ月)

『やまここ』のアプリで知って参加しました。子育ての悩みも人に話すことで、気持ちが楽になりました。月齢の近いママさん仲間ができて嬉しいです。



木村 翔子さん
瑛茉ちゃん
(生後5カ月)

たくさんのママさんたちとお話しして、赤ちゃんも自分も良い気分転換になりました。赤ちゃんの成長を見つめ直す良い機会になっていると思います。

妊娠期

家族応援講座「パパママ学級」



出産後の生活について知り、夫婦円満のためのコミュニケーションについて考える講座です。理想の子育てや互いの価値観を出産前から話し合っておくことで、出産後に安心して過ごせます。※次回は2月20日(日)に開催予定。自宅等でのオンライン受講のみ受付中(要予約)。申し込みはこちらから▶

利用者の声



矢野 優一さん
春香さん
(妊娠8カ月)

講師の方が子育ての先輩として具体例を挙げながら話してくれたので、出産前に夫婦で子育てについて考えて、出産後の具体的なイメージができました。これからも、夫婦で話をしながら良い関係を築いて、2人で協力して子育てをしたいです。

プレママカフェ



初めての出産を控えた妊婦さんが、出産や子育てについて知り、お子さんを迎える準備をするための講座です。赤ちゃん人形を使った抱っこや着替えの練習や、妊婦さん同士の情報交換や交流もできます。

利用者の声



鳥海 優美さん
(妊娠7カ月)

家族や友人となかなか会えない中、予定日の近いママさんと気軽にお話しできました。着替え体験などの実技だけでなく、お話しすることで不安が和らぎました。



辰本 美紗子さん
(妊娠10カ月)

分からないことを保健師さんや助産師さんに気軽に聞いて、他のママさんとお話しできるのが楽しいです。出産後もこういった講座に参加したいです。



ご存じですか? やまぐちの子育てサポート

本市では、お子さんの成長に合わせて、妊娠期から幼児期まで切れ目なくサポートを行っています。ここでは、そのうちのいくつかをご紹介します。

安心して子育てできるまちへ

核家族化の進展や長引くコロナ禍の影響など、時代や環境の変化が目まぐるしい昨今、不安や孤独を感じながら子育てをしている方が増えていると感じます。頼れる人が身近にいない、仕事と家庭の両立が負担、子どもの成長が心配などの相談が寄せられています。子育てを取り巻く環境は人それぞれです。悩みや不安を抱え込まず、ささいなことだと思わずにまずはお話を聞かせてください。本市では、妊娠期から出産、子育て期までを切れ目なくサポートする体制を整えています。お子さんの成長を一緒に喜び、悩みや不安に寄り添いながら専門的な視点から解決の糸口を探っていきます。「山口で出産してよかった」「山口なら安心して子育てができる」と思っていただけのように、関係する機関が協力して、全力で応援します。市では今後も、誰もが安心して妊娠、出産、子育てができるようさらにサポートを充実させていきます。



子育て保健課
保健師
東條 めぐみ

山口市 空き家・空き地バンク を利用しませんか？



空き家・空き地を
売りたい・貸したい・
借りたいけれど、
相手が見つからない！

そんなときは、「山口市
空き家・空き地バンク」！
人口減少が進む地域で、
移住・定住と空き家等の
流通促進を図るため、空
き家等をお持ちの方に情報
を登録していただき、その
情報を山口市移住情報サイ
ト「すむ住む山口」で公開
し、空き家等の利用を希望
する方へ情報提供する制度
です。

空き家等をお持ちの方
で、「売りたい、貸したい」
という方からの物件の登録
を募集中です。

▼対象 阿東・徳地・仁保・
秋穂二島地域の空き家（戸
建て住宅・兼用住宅など）
と空き地の所有者
また、空き家の利用促進
を図るため、予算の範囲内
で補助制度を設けています
（左ページ下段参照）。

詳しくはお問い合わせく
ださい。
定住促進課 ☎0833-
93414646

空き家所有者にとっても
移住希望者にとっても
頼れる存在「定住サポーター」

「空き家・空き地バンク」は、
空き家等を優れた地域資源として
活用することや、移住・定住促進、
地域活性化を目的として、平成20
年に制度が始まりました。当初は、
空き家のみを対象とした「空き家
バンク」でしたが、平成31年4月
からは空き地も対象とした「空き
家・空き地バンク」として制度が
続いています。

この最初の「空き家バンク」から
少し遅れて、平成23年に「定住サポ
ーター」制度が始まりました。

定住サポーターは登録制のポラン
ティアで、「空き家・空き地バンク」
制度において、物件登録の際に山口
市の職員と一緒に調査を実施した
り、物件見学の際に移住希望者の方
に地域の情報提供やアドバイスをさ
れています。

これまでに200件近い物件が
「空き家・空き地バンク」で成約と
なったことは、こうした定住サポ
ーターの皆さんのご尽力の賜物です。



空き家の物件調査

地域事情に精通したサポーターが、
家主さんの希望や思いをくみ取りな
がら、移住される方の気持ちにも
なって物件を調査します。家主さん
からは、信頼できるサポーターのお
かげで、長く住んだ思い入れのある
家を安心して空き家バンクに登録で
きたとの声があります。

定住サポーターに聞く！

ゆっくりゆっくり、地域になじんでいただくために

定住サポーターは、地域に物件を求めて来られる方のご案内や、入居された後は、お祭り事などの地域情報を少しずつお伝えするなど、地域になじんでいただくために活動しています。

こうした活動は、やりがいがある面と神経を使う面の両方があります。移住者の方は、真っ白な状態で地域に入ってこられるので、あまりこちらの思いを押し付けないように心がけています。相手の性格や、今までの生活の環境などを少しずつ聞きながら、ゆっくりゆっくり、地域になじんでいただければ嬉しいです。



定住サポーター
(徳地地域・サポーター歴11年目)
増田 久美子さん

空き家バンク 改修事業補助金

移住者が入居する際に改修が必要な場合、
改修費の一部を補助します。

- 補助対象者
空き家・空き地バンク制度において売買
または賃貸借契約した空き家の所有者
- 補助対象となる改修等
床、畳、壁、天井材の張替/浴室、ユニッ
トバス、トイレ、洗面の工事/ガス給湯器、
電気温水器、ポイラー等の設置等
- 補助金の額
最大で補助対象経費の2/3、上限60万円
※入居する世帯の状況や空き家の所在地
によって異なります。

空き家バンク 家財道具等処分事業補助金

移住者が入居する際に家財道具等の処
分が必要な場合、処分・搬出にかかる
費用の一部を補助します。

- 補助対象者
空き家所有者：空き家・空き地バン
ク制度に登録した空き家の所有者
空き家入居者：売買または賃貸借契
約した入居者
- 補助対象となるもの
当該物件に残存する家財道具等の処
分・搬出にかかる経費
- 補助金の額
補助対象経費の1/2、上限10万円

おトクな 住宅支援制度

空き家・空き地バンクの成約者には、
改修費用や家財道具処分費用の
一部を助成する制度があります。
補助金交付手続きは改修を行う前
に必要ですので、詳しくは移住情
報サイト「すむ住む山口」をご
覧ください。



圏域の市町におでかけしよう！

※詳細は、各お問い合わせ先へご確認ください。



圏域7市町のイベント情報

美祢 出張萌えサミット in 秋芳洞

アイドルグループや声優、コスプレイヤーなど、サブカルチャーをメインとしたイベントが盛りだくさんの「萌えサミット」が、2022年も美祢市秋芳洞にやってきます。

日時 2月13日(日)10時～16時
場所 秋芳洞と秋芳洞ふれあい広場(秋芳町秋吉)

問 萌えサミット in 秋芳洞実行委員会 ☎0837-62-0115

山陽小野田 企画展「火とともにある暮らし～昔の道具展～」

当館に収蔵されている「火」をあつかう道具を展示し、私たちの祖先がどのように火とともに暮らしてきたかを紹介します。

日時 2月18日(金)～3月20日(日)9時～16時30分(月曜休館)

所 山陽小野田市歴史民俗資料館(栄町9-21) ☎0836-83-5600

萩 萩・椿まつり

約25,000本のヤブツバキが可憐な花を咲かせます。期間中の土・日・祝日には、椿見どころ案内人の無料ガイドや、萩椿小町のおもてなし、椿の苗木販売などがあります。

期間 2月11日(金・祝)～3月20日(日)
場所 笠山椿群生林(越ヶ浜)

問 萩・花ごよみ実行委員会(萩市観光課内) ☎0838-25-3139

宇部 まちじゅうエヴァンゲリオンスマホスタンプラリー

JR宇部線とJR小野田線に乗って専用アプリ内でスタンプポイントを集めて応募すると、エヴァンゲリオン関連グッズなどが抽選で当たるスタンプラリーを実施しています。

期間 3月22日(火)まで
場所 宇部市内各所

問 宇部市交通政策推進グループ ☎0836-34-8831

津和野 あわら田～敗戦から15年、ある農村の記録～

桑原史成氏が1959年に富山県のある農村「あわら田」の現地調査を行った時の記録を展示します。

日時 4月20日(水)まで9時～17時

料金 一般300円、中高生150円、小学生100円

所 桑原史成写真美術館(後田71-2) ☎0856-72-3171

防府 梅まつり

約1,100本の梅が花開く2月中旬から3月上旬、稚児舞をはじめとしたさまざまな奉納行事を行います。

期間 2月20日(日)～3月6日(日)
所 防府天満宮(松崎町14-1) ☎0835-23-7700、防府市まちな駅うめてらす(松崎町1-20) ☎0835-28-0500



ウェブサイトでも公開中

山口ゆめ回廊博覧会が閉幕

12月25日(土)、半年間にわたり開催した「山口ゆめ回廊博覧会」のフィナーレを祝うとともに、圏域の未来について思いをはせるイベント「またね、ゆめはく！」を、宇部市のとさわ湖水ホールで開催しました。



「7市町未来への鐘」を鳴らす市長

イベントには、圏域7市町の首長や博覧会実行委員会の大庭達敏会長、コンダクターの山出淳也氏に加え、約200人の参加者が出席し、大庭会長は「この博覧会を契機として、終了後も7市町が協力し、地域を元気にする取り組みを継続することが重要」とあいさつしました。

女優の鶴田真由氏と音楽家のharuka nakamura氏による圏域の魅力を伝える映像作品を背景にしたライブ公演の後、会場を屋外に移し、湖水ホールそばに設置された「7市町のひかりの実」の鑑賞会が行われ、このプロジェクトを手掛けた高橋匡太氏が作品を紹介しました。その後、7市町の首長が「7市

町未来への鐘」を思いを込めて鳴らし、その鐘音を聞きながら、圏域の未来に思いをはせました。
山口ゆめ回廊博覧会推進室 ☎083-934-4152

令和4年成人式を開催

1月9日(日)、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、山口市民会館で成人式を行いました。式典には、振り袖やスーツに身を包んだ新成人約1400人が出席しました。



記念撮影する新成人

式で市長は「この変革の時代を乗り越え、新たな時代を切り拓き、未来へ立ち向かう先駆者として、それぞれの夢に向かって一層、邁進されることを期待している」と激励しました。また、新成人を代表して廣部碧さん(小郡地域出身)と、田中力さん(小幡地域出身)が、これまで支えてくださった方々への感謝と新成人としての決意を「二十歳の誓い」として発表されました。
社会教育課 ☎083-934-2805

令和4年消防出初式を開催

1月9日(日)、県教育会館で、山口市消防出初式を開催しました。消防出初式とは、消防関係者の士気高揚と、防火・防災の意識啓発を図ることを目的に開催する新春の恒例行事です。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、一般参観は行わず、式典・屋内行事のみの開催となりました。



まとい隊による勇壮な演技

式典では、市長が「本日を契機にさらなる消防精神の高揚と技術の錬磨に努められ、地域の皆さんの期待と信頼に応えることができるよう、一層のご尽力をお願いしたい」とあいさつしました。河村博次消防団長は「消防団としての使命を果たすべく、より一層の精進と努力をお願いしたい」と訓辞を述べました。

その後、消防関連の功労者の表彰やまとい隊の演技、消防音楽隊による演奏などが行われ、出席した消防団員ら約280人は、地域住民の安心と安全を守る決意を新たにしました。
消防本部警防課 ☎083-934-2202

表紙の写真

「甘いキャベツをめしあげれ」

冬といえば冬野菜！というところで、県内最大級のキャベツ産地で、現在、冬キャベツの出荷最盛期を迎えている秋穂二島地域にお邪魔してきました。

取材にご協力いただいたのは「農事組合法人二島西」の皆さん。広大な農地にはおいしそうなおキャベツがずらりと並び、収穫の時間を今か今かと待っています。

潮風香る瀬戸内の温暖な気候の下で育てられ、甘さ引き立つ二島キャベツですが、園芸作部長の嶋谷さんによると、出荷先は広島方面が多く、県内では認知度が高くないことが課題だといいます。南北に長く広大な市域を有する本市には、地域ごとに異なる気候を生かした魅力あふれる農林水産物が数多くあります。

市民の皆さんにも、もっと地元産の農林水産物に目を向けていただき、その味覚を楽しんでいただければと思います。

広報広聴課 ☎083-934-2753



生産者さんが真心こめて作っている市産の農林水産物をぜひご賞味あれ！

vol.10 **山口で広がる国際交流**

国際交流や多文化共生への理解を深めることを目的に、山口市内で活躍している市民団体・外国人市民の活動内容や思いをご紹介します。

国際交流課 ☎083-934-2725

環境問題について考えてみよう！

オリアナ ファン ビーンさん

- 出身国 コロンビア
- 日本の滞在歴 3年



山口市の美しい自然を守るために

Hola! オリアナ ファン ビーンと申します。私は、コロンビア出身で、夫の地域おこし協力隊着任をきっかけに山口市に来ました。

皆さん、秋穂二島地域的美濃ヶ浜に行かれたことはありますか。私は、美濃ヶ浜を中心に環境デザイナーとして、「タイニーバー」の新店や環境活動に取り組んでいます。私の故郷コロンビアでは、自然に囲まれた田舎で子どもを育てる人が多く、私自身も生活の中に自然や動物がいることが当たり前であった経験から、地球環境が悪化することは、いずれ人間の生活環境を悪化させることにつながると実感し、環境保護活動をしています。

私は、ヨーロッパなどさまざまな国で生活してきました。日本はゴミのポイ捨てが少なく、分別して捨てられているので、街がとてもきれいである一方、環境

に対する意識は少し遅れているように感じます。日本では、出たゴミのリサイクルが進められていますが、ヨーロッパでは、まずゴミとなる資源を使わないことが推進されています。エコバックを持ち歩いたり、トッパーやスプーンを持参するなど、ゴミとなる資源の消費をしない取り組みが当たり前になっています。タイニーバーを始めたのも、地域に、皆さんが集まれる楽しい拠点を作り、環境へ配慮した新店をすることで、集まった人や他の事業者が環境問題へ意識を向けるきっかけとしたからです。

今後、さらに地域の皆さんと交流しながら、山口市の美しい自然を守る活動を続けていきたいと思っています。



秋吉台を散策するオリアナさん

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止へのご協力をお願いします

現在、新規感染者が増加し、オミクロン株による感染が拡大しています。オミクロン株に対しても基本的な感染対策が有効です。今後も「マスクの着用」や「手洗い」、「3密（密接・密集・密閉）の回避」、換気などの基本的な感染症対策を徹底し、体調不良時は、外出や移動を控えるなど、感染拡大防止にご協力をお願いします。一人ひとりの行動が、感染拡大を抑え込み、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。

新型コロナワクチン 追加（3回目）接種について

※本情報は1月12日時点のものであり、状況に応じて変更する場合があります。最新情報は市ウェブサイトをご覧ください。各地域交流センターと分館でもご覧いただけます。



山口市
ウェブサイト

問 山口市接種予約・相談センター
☎ 083-976-6420（毎日9時～20時）

接種券の発送スケジュール

予約時期の分散化を図るため、2回目の接種を受けた時期により段階的に接種券を発送します。接種券には、接種を実施する医療機関に関する情報など、3回目の接種に必要な情報を確実にお届けするための案内文書を同封しています。

※右表に掲載した情報以降の日程については、現在調整中です。決まり次第、市報と市ウェブサイトでお知らせします。

発送基準日	65歳以上の方	64歳以下の方
	2回目を接種した時期	
発送済み	～6月26日	～5月19日
2月2日（水）	6月27日～7月5日	5月20日～6月2日
2月9日（水）	7月6日～7月15日	
2月16日（水）	7月16日～7月31日	6月3日～6月16日
3月2日（水）	8月1日～8月16日	6月17日～7月2日
3月16日（水）	8月17日～8月30日	7月3日～7月16日
3月30日（水）	8月31日～9月13日	7月17日～7月30日

キャンセル待ち登録を受け付けています（3回目接種用）

接種会場で急なキャンセルが発生した場合に、ワクチンを有効活用するため、キャンセル待ち登録を受け付けています。

▼対象者

- ①山口市が発行した3回目接種用の接種券をお持ちの方で、接種会場を予約できなかった方
- ②住民票の所在地が山口市の方
- ③接種会場まで自身で移動できる方

▼申込方法

市接種予約・相談センターへ下記の4項目を電話でお伝えください。

- ①接種券番号
- ②氏名
- ③日中連絡が付き電話番号
- ④希望するワクチンの種類

▼接種までの流れ

- ①キャンセルが発生
- ②市から登録者へ電話連絡し、接種会場、時間等を伝える。
- ③ご自身で接種会場へ行っていただき接種する。

【注意していただきたいこと】

- ①登録の有効期限は申し込まれた月の月末までです。
- ②すでに他の接種会場を予約している場合は、キャンセル待ち登録できません。
- ③電話に応答がない場合は、次順位の方をご案内します。
- ④あくまでもキャンセルが発生した場合の対応ですので、接種を保証するものではありません。必ずご自身で接種会場の予約をお願いします。
- ⑤申込後、接種会場を予約した場合は、登録の取り消しを行いますので、市接種予約・相談センターへご連絡をお願いします。
- ⑥登録順などに関するお問い合わせは、お受けできません。

地球にやさしいまちづくり

先般の本市職員における公職選挙法違反により、市政への信頼を損ないましたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後は研修等を通じて、再発防止に取り組みまいります。

さて、近年の猛暑や豪雨などの異常気象は、温室効果ガス排出量の増加にもなう地球温暖化が原因のひとつと言われており、世界中で温暖化を止めるための取組が求められています。

こうした中、本市では、これまでの省エネ商品の購入やエコドライブの実践といった「クールチョイス」の取組をさらに進め、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」に挑戦することといたしました。今後、市民や事業者の皆様と共に、電力の地産地消の促進などに取り組むことで、未来の子どもたちに安心して暮らせる環境を引き継いでいきたいと思っております。

1月から副市長も就任した新体制のもとで、こうした新たな取組や市政の信頼回復に全力で努めてまいります。

山口市長

伊藤和貴



この広報紙は再生紙を使用しています。処分する際は「新聞紙」として古紙類の分別収集に出しましょう。

市政情報を「山口市LINE公式アカウント」で配信しています。



市報やまぐち 2月1日号

発行 山口市 〒753-8650 山口市亀山町2-1 <https://www.city.yamaguchi.lg.jp>
編集 総合政策部広報広聴課 ☎083-922-4111（代表）/印刷 株式会社マルニ